2023 年 07 月

地域自然情報研究会（現地 / オンライン 併用開催）

減災と生息地提供を両立させる生態系管理（NbS）

山田 由美 氏

（略歴）建設コンサルタント勤務。専門は景観生態学・空間情報学。特に鳥類の保全に関心があり、利用環境の分析を踏まえた生態系管理の提案を目指している。慶應義塾大学一ノ瀬友博研究室出身。博士（学術）。

非日常的に起きる洪水時にリスクを減らすと同時に、日常的にはその土地独自の生態系が生み出す恵みを得られるような Win-Win の空間計画が国内外で期待されています。この取り組みは気候変動影響や生物多様性喪失などの課題を抱える氾濫原という生態系の管理そのものであり、「自然に根ざした社会課題の解決策（Nature-based solutions (NbS)）」ということができます。

発表では、氾濫水理シミュレーションと経済価値への変換による期待減被害額計算、生息適地モデルによる生息地の潜在性計算、そしてそれらの結果の重ね合わせなどから導いた、減災と生息地提供が両立する潜在性やその空間分布をご紹介します。

なお当日は「自然の利用と保護を両立させる OECM（その他効果的なエリアに基づく保全手段）」も関連させて、この概念の活用をみなさんと議論したいと思っています。

開催日時

2023年7月15日（土）15：30～17：30

参加費

1,000円（ＧＣＮ会員は無料）

お申し込み・お問い合わせ

下記ホームページよりお申し込み下さい。
http://www.geo-eco.net/

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
（gcnken@gmail.com　担当：梶並）

地域自然情報研究会とは？

当ＮＰＯにて2006年から，年数回のペースで開催している研究会で，地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究，GIS情報整備や公開にかかわることなど，幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から，新たな発想が生まれる場とするために，分野に限らず，多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では，皆様の話題提供も，随時，受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。

会場

新宿区環境情報学習センター２Ｆ研修室
（エコギャラリー新宿）
及び
Zoomミーティング

ＮＰＯ法人
地域自然情報ネットワーク
The Geoecological Conservation Network

ＮＰＯ法人地域自然情報ネットワーク（ＧＣＮ）は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します

なお，ＧＣＮにつきましては，当会ホームページをご覧下さい。
http://www.geo-eco.net/index.html